

会 議 録

会 議 名	第1回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会	
日 時	平成30年11月12日(月) 15:00~16:30	
場 所	八王子労政会館 第4会議室	
参加者氏名	参加者	小根山裕之座長、山崎勲介、宮瀬睦夫、田口秀夫、深沢靖彦、杉浦貢、伊東寿、原清、吉川真実、佐藤彰恒、佐竹恭周(武田阿沙美)、田崎達久、井上喜央、露木輝久(鈴木信行)、下田直啓、市川明広、小林弘樹、臼井賢二、守屋和洋、廣瀬勉、太田國芳、佐久間寛、西山忠 ※()は代理出席者
	事務局	交通企画課長：山崎泰弘、交通企画課課長補佐兼主査：染谷祐介、交通企画課主任：三ツ木芳彦、交通企画課主事：畠山陽平
欠席者氏名	—	
議 題	(1) 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 開催要綱について (2) 資料説明 ・第1回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会資料	
公開・非公開・別	公開	
非公開理由	—	
傍聴人の数	なし	
配布資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 参加者名簿 ・八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 開催要綱 ・資料1：第1回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会資料 ・参考資料：八王子駅・京王八王子駅周辺における案内サイン等の整備について ・八王子駅周辺の交通環境について 	

1 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 開催要綱について

【事務局】 懇談会開催要綱では、懇談会は、原則公開するものとしており、八王子市情報公開条例第8条に規定する非公開事項に該当する場合は、非公開とする、としている。

本日の会議の内容については、非公開事項に該当する内容とはなっていないため、会議を公開とする。

【参加者】 懇談会の副座長については、座長が指名する者を持って充てるということになっているが、都市計画部長にお願いしたいと思うがいかがか。

【参加者】 異議なし。

【参加者】 副座長は都市計画部長とする。

2 八王子駅周辺における取り組みや交通面での課題などについて

【事務局】（「資料1：第1回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会資料」および「参考資料：八王子駅・京王八王子駅周辺における案内サイン等の整備について」に基づき説明。）

【参加者】 今回は本懇談会の第1回ということもあるので、ご参加いただいている皆様から、八王子駅周辺における取り組みや交通面での課題などについて、ご意見を頂戴したい。

【参加者】 八王子駅周辺は自家用車の寄り付き場、待機場所がなく不便を感じている。寄り付き場所をいかに確保するか検討していただければと思う。

【参加者】 北口の駅前広場を是非変えてほしいと考えている。バスの安全性や定時性の確保はもちろん、駅前広場の使いにくさを使いやすくすることを検討していきたい。

【参加者】 整備が予定されている産業交流拠点をいかに活用して、多くの観光客に来てもらうかを考えているところである。

北口の駅前広場で観光案内所を運営しているが、観光案内所の地上階からバスに乗るには、地下かデッキへ上がらなければならないことに対する意見を多数もらう。また、市域が広いため、観光にはバスが必要なこともあり、観光バスの発着場所が課題となってくる。

【参加者】 中心市街地の開発に際し、検討に参加し意見を述べてきたところではあるが、懇談会の中で八王子駅周辺の交通問題に取り組むことができ、期待している。資料にもあるが、八王子駅周辺では一方通行や相互通行の路線があり、一体的に見直しをするべきではないかと考えている。

【参加者】 八王子駅南口の再開発にあたり、駅前広場のロータリーでスクールバスを運行している。以前は、1、2校のバス送迎であったが、現在6校に増えている。駅前広場内に2バスしかないことから、周辺道路で時間調整していることもある。懇談会において、学校法人を代表して意見を述べていきたい。

【参加者】 出される意見に対し、道路管理者としてできる限り協力していきたい。

【参加者】 管理している南大通りにおいて、観光バス、スクールバスが路上に停まっている状況があり、一般車両も時間帯によっては待機している。待機場所の確保や全体のルール作りに、できる限り議論して協力していきたい。

【参加者】 右側駐車や悪質な交通違反は引き続き取り締まるが、取り締まりだけでなく、交通規制の変更なども含めて柔軟に、安全で円滑な交通環境を目指していきたい。

【参加者】 J R八王子駅から京王八王子駅への案内サイン整備について、別の会議の中で整備計画の検討に参加させていただいている。説明や参加者の意見から、駅前広場含めての周辺の課題については理解した。より良い環境整備が出来ればと思う。

【参加者】 市街地の交通円滑化については、中心市街地の重要な点と考えている。産業交流拠点の開発が進む中で、新しい来訪者の呼び込みが期待できる。また、インバウンドの受け入れなど、新しい動きに備えているところである。

【参加者】 今月開業する南口の商業施設への一般乗降場の設置や、八王子駅南口の市道八王子 1393 号線に際しての用地提供を行った経緯があり、まちづくりに協力させていただいているところである。

【参加者】 J R八王子駅と京王八王子駅の案内サイン整備の検討にも参加しているところである。駅は地下に入っているが、駅を出てから安全スムーズに移動できるよう協力していきたい。

【参加者】 路線バス運行していて、一番の課題は安全の確保である。路線バスの事故で多いのが、車内での転倒事故である。転倒事故の原因は急ブレーキを踏む際が多く、駅周辺で多いのが一般車との動線の交錯などが急ブレーキの要因となる。一般車との動線の整理が、公共交通機関の定時性の確保にもなるし、駅前の一般車の流入抑制にもなるのではないか。

【参加者】 八王子駅周辺では乗り場の問題が一番であり、八王子の場合、学校、企業が駅から離れたところにあるため、アクセスを確保しないと八王子の衰退につながってしまうだろう。路線バスだけでなく、観光バス、市内の私立の学校のスクールバス、企業の送迎バスも行っており、その面の立場でも考えていければと思う。

東放射線アイロードでは駐車車両が多い上に路線バスの交通量も多く、また、駐車車両の間から人が飛び出してくることもある。歩行者との分離が必要である。

【参加者】 一般車、荷捌き車両等で交通環境が悪化している中で、走行環境の改善で安全性の確保ができるのが理想である。土地を用意して滞留する空間を確保すればすぐに改善されるのであろうが、現状を考えれば、ルール作りや規制などで実現できればと考えている。

【参加者】 市内に、タクシー車両は 500 台強あるが、乗務員不足などにより、実際稼働は 400 台あるかというところである。そのうち、八王子駅周辺の稼働はおおむね 100 台くらいと考えている。駅北口、南口にプールがあるが、雨が降ると全て出払ってしまい、お客様が並ぶということもある。需給バランスが変動するのがタクシーの特徴でもあり悩みである。高齢者や障害者にも乗りやすい乗り物であり、貢献していきたい。

【参加者】 1986 年に東浅川保健福祉センターができるにあたり始まった組織であり、今は 63 団体が加盟している。八王子市内には 100 団体以上あるが、一番大きな組織である。

八王子に長く住んでいる障害当事者は便利なトイレ、エレベーター、バリアフリー施設はおのずとわかるが、市外から来た障害をお持ちの方々、高齢者から案内表示が分かりにくいという意見を頂く。観光に来られた方、移動の便利さを考えていかないといけない。

【参加者】産業の活性化について、人手不足や資材の高騰により厳しい状況にある。その中で産業交流拠点は明るい話題である。各産業のビジネスチャンスや雇用の確保にも向け、産業交流拠点の効果を高めるためにも、交通円滑化に取り組んでいければと思う。

【参加者】平成 30 年 3 月に中心市街地活性化基本計画を策定した。中心市街地の活性化に向け、この 5 年間で様々な動きが出てくる。産業交流拠点の整備で、東側に人の流れができることが予想されるため、西側の街づくりを進めているところである。中心市街地の活性化に向け、参加者の意見を交通円滑化対策に反映させるとともに、八王子駅周辺の交通円滑化に次の 100 年に向けたまちづくりを進めていきたい。

【参加者】道路交通部では市道の道路管理や、北口の地下駐車場、駅周辺の自転車駐車場、マリベリーブリッジ、市道八王子 1393 号線などかかわってくる。変わりゆく交通環境に対して、先を見越して、どのような事業、対策を優先的にとっていくか、中長期的な対策をどうするか、様々な分野の方の見識を頂き対応していきたい。

【参加者】道路交通部の中で、管理部門を担当している。様々な課題がある中で、参加者の意見をうかがい、できる限り反映していきたい。

3 質疑・意見など

【参加者】駅前土地も限られているため、新たな土地の捻出も難しいだろう。新たなルールを作って、路線バス・観光バス・企業バスなどをスムーズな処理ができるような整理が出来ればと思う。土地を設けてとなると、5 年、10 年となってくるため、ルール作りを考えてはどうか。

【参加者】懇談会の開催スケジュールについて、今回が第 1 回で、来年 10 月までの第 5 回の会議の中で、これだけの膨大な交通問題をまとめられるのかという問題がある。ポイントを絞って議論するべきだと思う。今回の資料に 3 点の基本方針（案）があるが、この 3 つに絞ってやればよいか。

【事務局】対応策の方向性、基本方針の案として、3 つ示させていただいたところである。路線バスについて、直接的な対応は難しいと考えており、他のバス類のルール作りなどを通じて路線バスの定時性・安全性の向上を図るとともに、歩行者の安全性も含めた中で、3 つを柱として考えていきたい。それ以外にも自転車等の交通モードもあるので、参加者の皆様からご意見を頂戴して検討していきたい。

【参加者】基本方針の案は事務局としての案として提示している。それ以外も課題として挙げていただいて、それを含めてハード・ソフト両面から検討していくことをお願いしたいということだろう。細かい議論は 5 回では難しいが、方針を固めていくということかと思う。

【参加者】駅前広場については是非検討していきたい。今の八王子駅北口駅前広場が使いやすいている人はいないと思う。北口駅前広場が交通のスタートであり、産業交流拠点ができればさらに交通問題が出てくるため、検討をお願いしたい。

【参加者】八王子駅北口は一般車が行きたくないような場所であり、使いやすいと言われていない。駐車場はあると思うが、寄付き場を確保してほしい。

【参加者】ハード面での改良が難しい部分もあるだろうが、そういった点はソフト面でカバーする必要があるだろう。特に案内サインの整備については、公共交通活性化協議会の分科会で検討しているようであるが、観光客や八王子に初めて来る方の案内をしている側とすれば、分かりやすい、案内しなくても分かるサインが整備されるとありがたい。整備の内容が決まる前に確認させていただければ両者の立場に立って意見できると思うので、内容を教えていただきたい。

【参加者】北口の駅前広場や個々の駐車場など、ハード・ソフトいろいろと課題があり、法令の制約もある。利用者と事業者の意見をすり合わせるということは難しいが、一定の方針を出して、どこまで行政や事業者としてできるということではないか。

路上に停まっているバス等を排除するという理論でなく、共存し、より良い、来ていただく環境をつくる方針を作る必要がある。方針が出来上がれば、それをもとに出来ることを行政や事業者が進めていく。

【参加者】いろいろな制約がある中で、望ましい方針を見出していく議論が出来ればと思う。今回は第1回ということで、課題の共有と参加者から意見を頂戴した。具体的な検討については次回以降お願いしたい。

4 その他

【事務局】参加者より八王子駅周辺の交通について課題やご意見をいただきたい。いただいたご意見を参考に、第2回以降の懇談会において、対応方針の検討などの参考とする。机上に配布した意見募集の資料を確認し、FAXまたはメールにて意見をいただきたい。

【事務局】次回の懇談会は来年2月頃を予定しており、後日案内を送付させていただく。